

科学思想を知るうえで貴重であり、何よりもこのような名著がわが図書館に存在し、図書館や博物館などで歴史資料として展示できることは極めて幸せなことである。今後の専門家による

詳細な調査と活用を期待したい。

平成13年1月23日記す。

滋賀県立成人病センタ - 研究所長(元京都大学教授)

(すぎやま たけとし)



図1. 第1巻の扉。1785年刊とある。本のサイズは10.0×16.5×5.0-6.0cm。

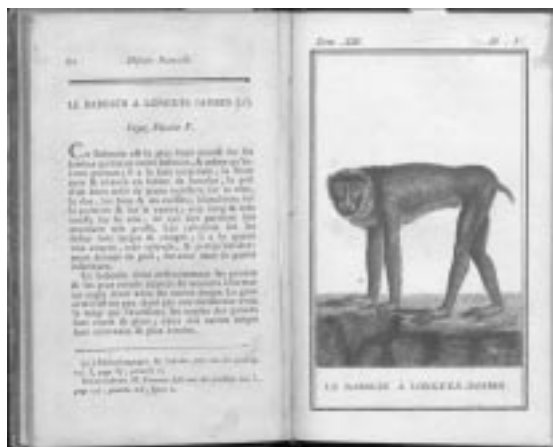


図2. 第27冊の四足獣13巻P62のヒヒ。



お知らせ

企画展『近世の京都図と世界図』

大塚京都図コレクションと宮崎市定氏旧蔵地図

開催期間：6月1日(金)～6月30日(土)月・火曜休館

開催時間：午前9時30分～午後4時30分
(入場は4時まで)

会場：京都大学総合博物館(2階)展示室

記念講演会
『近世京都図の特性』

講師▶金田章裕氏(京都大学大学院文学研究科教授)
日時▶平成13年6月12日(火) 午後1時30分～3時
場所▶京都大学附属図書館(3階)AVホール(入場無料)

本展示会は、例年秋に開催しています公開展示会を、今年は京都大学総合博物館開館記念協賛企画展として、昨年度附属図書館が寄贈をうけた、大塚京都図コレクションならびに宮崎市定氏旧蔵地図の中から、あわせて80余点を展示します。



大塚京都図コレクションは、大塚隆氏が長年にわたって蒐集された近世刊行の京都古地図の一大コレクションです。居ながらにして近世京都の市街と洛外の名所に遊ぶことができますと同時に、墨刷りから色刷りへ、木版から銅版へと印刷技術の歴史をもたどることができるものです。

一方、宮崎市定氏旧蔵地図は、故宮崎市定名誉教授が在外研究員としてパリ滞在中に蒐集された西洋古版地図及び地図帳等で、しだいに精度を増していく世界図によって、ヨーロッパにおける地理的な知識の増大と世界観の変化をみることができます。